

歌や踊りで大賑わい

～第21回あすわ苑夏祭り～

8月7日（日）特別養護老人ホーム「あすわ苑」で、21回目となる夏祭りが開催されました。入所者の方と、地域の方の交流を目的として毎年行われています。

牧小学校6年生（10人）による和太鼓で始まり、盆踊りやバンドの生演奏で、夏の暑さにも負けない熱気が伝わってきました。登龍中学校生徒がボランティアでお手伝いしたバザーコーナーも大盛況で、特にアイスクリームが大人気でした。



▲たくさんの人で賑わいました

不思議な化学実験を体験

～サイエンス教室～

夏休み短期教室として、小学4～6年生を対象としたサイエンス教室が行われました。全4回の講座の中には住友化学大分工場岐阜プラントの社員による教室があり、「発泡ウレタン実験」と「ルミノール実験」の2つの実験を行いました。

液体を混ぜ合わせると膨らみだす物体や、暗闇の中で発光する物質に、参加した子どもたちは不思議に思いながらも興味津々。どうしてそうなるのかの講師の解説に熱心に聞き入っていました。



▲混ぜた液体を手早く型に流し込みます

千日詣りと座談会

～町屋観音堂千日詣りと座談会～

8月10日（水）、西結の町屋観音堂で本尊の十一面観音像がご開帳されました。年に一度開帳される像を一目見ようと、たくさんの方がご礼拝に訪れました。

夜には、てるて姫の会（古澤啓司会長）による座談会があり、『絶唱「てるて姫」』の披露がされました。これは結小学校の児童が劇を演じる際、より関心を持ってもらうために作られました。

また、大垣市文化財審議会会長の清水進先生より「関ヶ原の戦いと大垣城」と題した講演が行われました。



▲金色の守本尊を間近で拝見

将来の夢に向かって

～中学校生徒による職場体験～

夏休み期間中、登龍・東安中学校2年生が町内の各施設や企業で職場体験をしました。

東安中学校からは9人の生徒が8月3日（水）、4日（木）の2日間、町役場を訪れました。

生徒たちは建設課や総務課等で実務を体験し、最後に行われた町長との面談では、「実際に体験してみて仕事の大変さが分かりました。」「建築関係の仕事を目指したい気持ちがより強くなりました。」と、感想を話してくれました。



▲用水脇にできた穴の深さを調査中